

理事長特別小委員会 第2回成果報告会（東京会場）の御報告

日ごろから NPO 法人臨床トンネル工学研究所の活動をご支援いただきまして誠に有り難うございます。

理事長特別小委員会報告書第2号の発行に伴い、平成24年12月6日(木) 13:30より、株式会社ケー・エフ・シー東京本社会議室において、「理事長特別小委員会第2回成果報告会（東京会場）」を行いました。

各テーマごと、発表30分、討議15分の予定でしたが、理事長の「参加者全員が発言しましょう！」の号令のもと、すべてのプログラムが予定時間をオーバーするという、大変白熱した報告会となりました。続けて行われた懇親会では、夙のご挨拶後も会場の撤収時刻まで議論が途絶えず、会員各位が日頃より技術者として思うところを存分に吐き出して頂けたのではないのでしょうか。

小委員会の活動は今後も継続し、新規小委員会も随時立ち上がっておりますので、今回参加できなかった会員の皆様も、今後の活動にはぜひ御参加頂きたいと思っております。

講演内容

講演時間(設計)	内容	発表者
13:40~14:25	本州で土日100m 先進ボーリングを実現するための現場作業検討	三木 茂 基礎地盤コンサルタンツ(株)
14:25~15:10	導水路トンネルの維持管理	小谷 拓 日本工営 (株)
15:10~15:20	休憩	
15:20~16:05	海外戦略勉強会	高橋 浩 三井住友建設(株)
16:05~16:50	斜坑門適用時の問題点	畑生 浩司 鉄建建設(株)
17:00~18:30	懇親会	



以上